

 アース不要  
の二重絶縁

**ボッシュ株式会社** 電動工具事業部

ホームページ : <http://www.bosch.co.jp>  
〒150-8360 東京都渋谷区渋谷 3-6-7

コールセンターフリーダイヤル

 **0120-345-762**

(土・日・祝日を除く、午前9:00~午後6:00)

\* 携帯電話からお掛けのお客様は、TEL 03-5485-6161  
をご利用ください。コールセンターフリーダイヤルのご利  
用はできませんのでご了承ください。



1 609 92A 0W3

1 609 92A 0W3 (15.04)

## 振動ドリル GSB 16REN3 型



### 取扱説明書

このたびは、弊社振動ドリルをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。  
ます。

- ご使用になる前に、この『取扱説明書』をよくお読みになり、正しくお  
使いください。
- お読みになった後は、この『取扱説明書』を大切に保管してください。  
わからないことが起きたときは、必ず読み返してください。



- 本取扱説明書に記載されている、日本仕様の能力・型番などは、外国語の印刷物とは異なる場合があります。
- 本製品は改良のため、予告なく仕様等を変更する場合があります。
- 製品のカタログ請求、その他ご不明な点がございましたら、お買い求めになった販売店または弊社までお問い合わせください。

# 目次

●安全上のご注意	
警告表示の区分	2
電動工具全般についての注意事項	2
振動ドリルについての注意事項	8
●本製品について	
用途	11
各部の名称	11
仕様	12
標準付属品	13
●使い方	
作業前の準備をする	14
作業する	19
●困ったときは	
故障かな?と思ったら	25
修理を依頼するときは	26
●お手入れと保管	
クリーニング	27
保管	27

ご安全上  
注意の

本製品  
について

使  
い  
方

困  
った  
とき  
は

保  
お  
手  
入  
れ  
と  
管

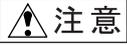
## 安全上のご注意

ご安全  
注意の

- ◆ 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、次に述べる『安全上のご注意』を必ず守ってください。
- ◆ ご使用前に、この『安全上のご注意』すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- ◆ お読みになった後は、ご使用になる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- ◆ 他人に貸し出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

### 警告表示の区分

ご使用上の注意事項は  警告 と  注意 に区分していますが、それぞれ次の意味を表わします。

-  **警告** ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。
-  **注意** ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、 注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

### 電動工具全般についての注意事項

ここでは、電動工具全般の『安全上のご注意』について説明します。今回お買い求めいただいた振動ドリルには、当てはまらない項目も含まれています。

**警告**

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。  
ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。



ご安全  
注意の

2. 作業場の周囲状況も考慮してください。

- ◆ 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。
- ◆ 作業場は十分に明るくしてください。
- ◆ 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。



3. 感電に注意してください。

- ◆ 電動工具を使用中、身体をアースされているものに接触させないようにしてください。  
(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)

4. 子供を近づけないでください。

- ◆ 作業員以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
- ◆ 作業員以外、作業場へ近づけないでください。

5. 使用しない場合は、きちんと保管してください。

- ◆ 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。

6. 無理して使用しないでください。

- ◆ 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
- ◆ モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。

7. 作業に合った電動工具を使用してください。

- ◆ 小形の電動工具やアタッチメントは、大形の電動工具で行う作業には使用しないでください。
- ◆ 指定された用途以外に使用しないでください。

### 8. きちんとした服装で作業してください。

- ◆ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
- ◆ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
- ◆ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。



### 9. 保護めがねを使用してください。

- ◆ 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。

### 10. 防音保護具を着用してください。

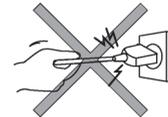
- ◆ 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音保護具を着用してください。

### 11. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。

- ◆ 電動工具に集じん機などが接続できる場合には、これらの装置に確実に接続し、正しく使用してください。

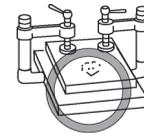
### 12. コードを乱暴に扱わないでください。

- ◆ コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
- ◆ コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。



### 13. 加工するものをしっかりと固定してください。

- ◆ 加工するものを固定するために、クランプや万力を使用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。



### 14. 無理な姿勢で作業をしないでください。

- ◆ 常に足元をしっかりとらせ、バランスを保つようにしてください。



ご安全  
注意の

### 15. 電動工具は、注意深く手入れをしてください。

- ◆ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- ◆ 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- ◆ コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店、またはポッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。
- ◆ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- ◆ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースなどが付かないようにしてください。

### 16. 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ◆ 使用しない、または修理する場合。
- ◆ 刃物、砥石、ビットなどの付属品を交換する場合。
- ◆ その他危険が予想される場合。



### 17. 調節キーやレンチなどは、必ず取り外してください。

- ◆ 電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取り外してあることを確認してください。

### 18. 不意な始動は避けてください。

- ◆ 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- ◆ 電源プラグを電源コンセントに差し込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。

### 19. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

- ◆ 屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

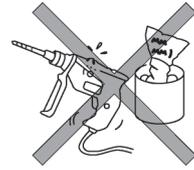
### 20. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。

- ◆ 電動工具を使用する場合は、取り扱い方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- ◆ 常識を働かせてください。
- ◆ 疲れている場合は、使用しないでください。



## 21. 損傷した部品がないか点検してください。

- ◆ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ◆ 可動部分の位置調整、および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響を及ぼすすべての個所に異常がないか確認してください。
- ◆ 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。  
取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。  
スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。
- ◆ スイッチで始動、および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。



## 22. 異常や故障時には、直ちに使用を中止し、すぐに電源プラグを電源コンセントから抜いてお買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターに、点検、修理を依頼してください。

そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。

<異常・故障例>

- ・電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- ・電源コードに深いキズや変形がある。
- ・コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
- ・焦げくさい臭いがする。
- ・ビリビリと電気を感じる。
- ・スイッチを入れても動かない。 など

## 23. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- ◆ この取扱説明書、およびボッシュ電動工具カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

## 24. 電動工具の修理は、専門店で依頼してください。

- ◆ この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ◆ 修理は、必ずお買い求めの販売店、またはポツシュ電動工具サービスセンターにお申しつけください。

修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

ご安全  
注上  
意の

この取扱説明書は、大切に保管してください。

## 振動ドリルについての注意事項

ご安全  
注意の

電動工具全般の『安全上のご注意』について、前項ではご説明しました。ここでは、振動ドリルをお使いになるうえで、さらに守っていただきたい注意事項についてご説明します。



### 警告

1. 必ず銘板に表示してある電圧の電源で使用してください。
  - ◆ 表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
2. 作業する個所に、電線管や水道管、ガス管など埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。
  - ◆ 埋設物があると、先端工具が触れたときに感電したり、漏電やガス漏れが発生したりして、事故の原因になります。
3. 使用中に振り回されないよう、振動ドリル本体にしっかりとサイドハンドルを取り付け、本体を確実に保持し作業してください。
  - ◆ 確実に保持しないと、けがの原因になります。
4. 使用中は、先端工具や回転部、切り粉などの排出部に、手や顔などを近づけないでください。
  - ◆ けがの原因になります。
5. 取扱説明書に記載されている用途、または能力以上の作業に使用しないでください。  
特にモーターをロックさせるなどの無理な使用はしないでください。
  - ◆ 発煙・発火の原因になります。

6. 使用中に振動ドリルの調子が悪くなったり、異常音がしたりしたときは、直ちに「電子無段変速スイッチ」を切ってください。使用を中止し、お買い求めの販売店またはポッシュ電動工具サービスセンターに点検・修理を依頼してください。

◆ そのまま使用していると、事故の原因になります。

7. 誤って落としたり、ぶついたりしたときは、先端工具や振動ドリル本体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。

◆ 破損や亀裂、変形があると、事故の原因になります。

8. シリカや石綿は、人体に有害です。このような成分を含んだ材料を加工するときは、防じん対策をしてください。

ご安全  
注意の

 **注 意**

ご安全  
注上  
意の

1. 先端工具や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
  - ◆ 確実でないとお外れたりし、けがの原因になります。
2. 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
  - ◆ 回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。
3. 作業直後の先端工具や切り粉などは高温になっていますので、触れないでください。
  - ◆ やけどの原因になります。
4. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。
  - ◆ 材料や本体などを落としたとき、事故の原因になります。
5. 細径のビットは折れやすいので注意してください。
  - ◆ 飛散して、けがの原因になります。
6. 本体を作動させたまま、台や床などに放置しないでください。
  - ◆ 事故の原因になります。
7. 工具類でコードを切断しないように注意してください。万一、コードを傷つけたり、誤って切断した場合は直ちに「電子無段変速スイッチ」を切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
8. 作業時は、ヘルメット、安全靴を着用してください。

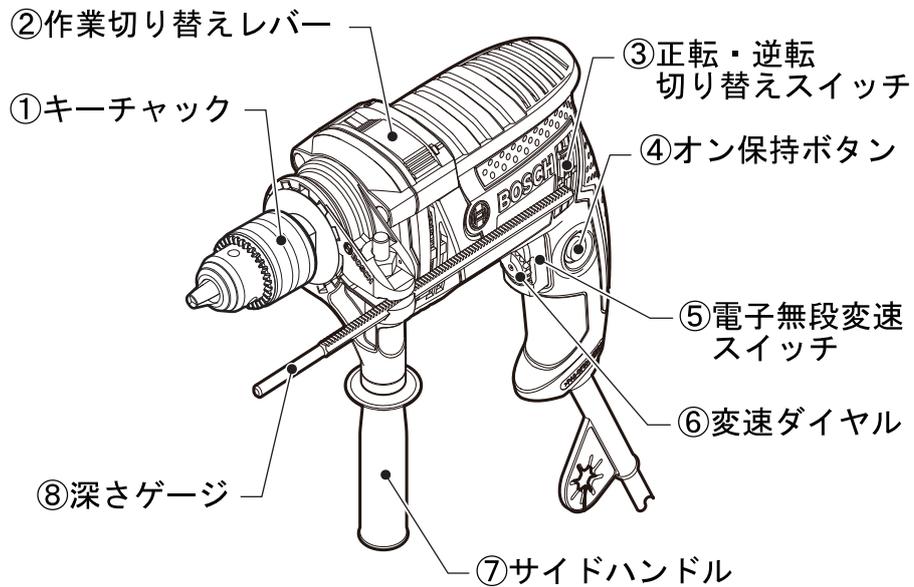
## 本製品について

### 用途

- ◆ コンクリートや石材、レンガなどの穴あけ
- ◆ 木材、金属、プラスチックなどの穴あけ
- ◆ ネジの締め・緩め

本  
製  
品  
に  
つ  
いて

### 各部の名称



◆イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

本  
製  
品  
に  
つ  
い  
て

## 仕 様

型 番	GSB 16REN3
電 源	単相 AC100V 50/60Hz
消費電力	750 W
回転数（無負荷時）	0~3250 min <sup>-1</sup> （回転/分）
打撃数（無負荷時）	0~48500 min <sup>-1</sup> （回/分）
穴あけ能力（最大径）	
コンクリート	16 mmφ
鉄 工	13 mmφ
木 工	30 mmφ
チャック把握範囲	1.5~13 mmφ
正転・逆転機能	有
質 量	1.8 kg
振動3軸合成値	
振動ドリル	13.1 m/s <sup>2</sup>
金工穴あけ	7.3 m/s <sup>2</sup>
ネジ締め	<2.5 m/s <sup>2</sup>
	EN60745-2 規格に基づき測定
原産国	マレーシア

標準付属品

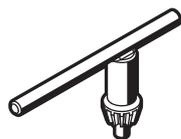


サイドハンドル

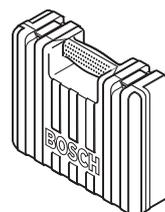


深さゲージ

本  
製  
品  
に  
つ  
き  
ま  
る



チャックハンドル



キャリングケース

◆イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

## 使い方

### 作業前の準備をする



**警告**

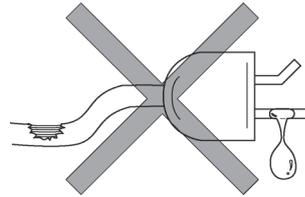
- ◆ 作業前の準備をするときは、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- ◆ 電源コードや電源プラグが損傷しているときは、直ちに使用を中止してください。お買い求めの販売店または、ボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。



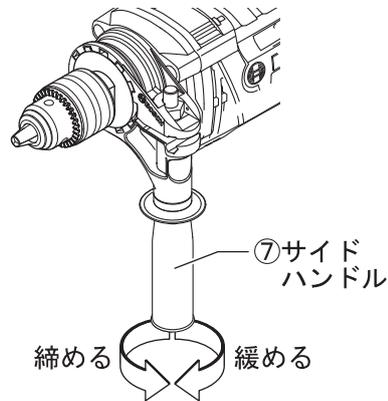
使  
い  
方

### ● 使用電源を点検する

- 単相 AC100V (50/60Hz) か？
- コンセント不良（ガタ）のため、電源プラグが簡単に抜けないか？
- 電源コードが断線していたり、電源プラグが破損していないか？



## ● サイドハンドルを取り付ける・取り外す



### 取り付け

1. サイドハンドル⑦のグリップ部分を矢印の方向に回して、サイドハンドルを緩めます。
2. サイドハンドル⑦を本体に差し込みます。
3. サイドハンドル⑦を回して、作業に適した位置に合わせます。
4. サイドハンドル⑦が、奥まではまっていることを確認します。
5. サイドハンドル⑦のグリップ部分を矢印の方向に回して、サイドハンドル⑦をしっかりと固定します。  
この際、ガタつきがないか確認してください。

 作業に適した位置にサイドハンドル⑦を固定すると、作業中に安定した姿勢が取れ、疲労を減らすことができます。

### 取り外し

1. サイドハンドル⑦のグリップ部分を矢印の方向に回して、サイドハンドルを緩めます。
2. 本体からサイドハンドル⑦を抜き取ります。

使  
い  
方

● 先端工具を選ぶ

振動ドリルビット



コンクリートなどの穴あけ

ドリルビット



鉄工用

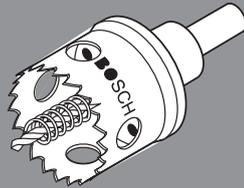


木工用

木材、金属などの穴あけ

使  
い  
方

バイメタルホールソー



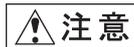
金属への大径の穴あけ

## ● 先端工具を取り付ける・取り外す



**警告**

◆ けがの発生を防ぐため、電源プラグを電源コンセントから抜き、取り付け・取り外し作業をしてください。



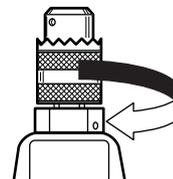
**注意**

◆ 穴あけ直後の先端工具は高温になります。冷たくなってから、先端工具を取り外してください。

◆ 先端工具は、刃先に触れないように注意して扱ってください。けがの発生を防ぐため、手袋を着用して扱ってください。

### 取り付け

1. キーチャック①を矢印の方向に回して緩めます。



2. 先端工具をチャックに差し込みます。

チャックハンドル

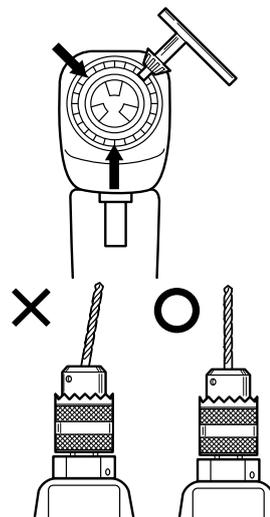
3. チャックハンドル（標準付属品）をキーチャック外周にある穴に差し込み、チャックハンドルを矢印の方向に回してチャックを締めます。



キーチャック外周にはチャックハンドルを差し込む穴が3つあります。3か所で均等に締めてください。

3か所で締めないと、先端工具のつかみ具合が不十分になります。

4. キーチャック①のつめが先端工具を均等につかんでいることを確かめます。



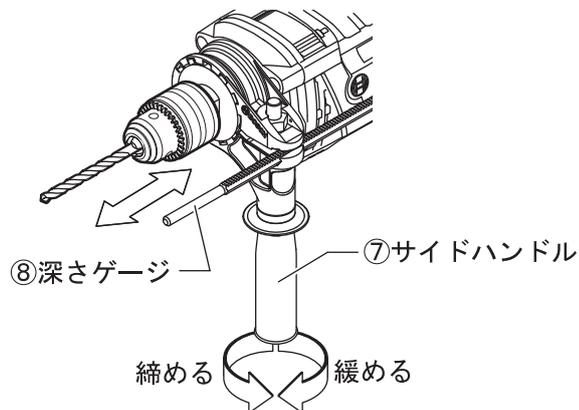
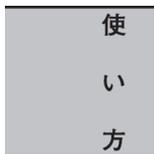
使  
い  
方

## 取り外し

1. チャックハンドルをキーチャック外周にある穴に差し込み、チャックハンドルを矢印の方向に回してチャックを緩めます。
2. キーチャック①から先端工具を抜き取ります。



## ● 深さゲージを取り付ける・取り外す



## 取り付け（穴あけ作業時に役立つ）

1. サイドハンドル⑦のグリップ部を回して、サイドハンドルを緩めます。
2. 深さゲージ取り付け部に、深さゲージ⑧を差し込み、サイドハンドル⑦のグリップ部を回して、深さゲージ⑧を固定します。

☞ 取り付け後、先端から押し込んで動かない事を確認してからご使用ください。

## 取り外し

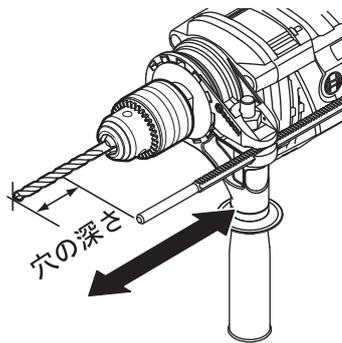
1. サイドハンドル⑦のグリップ部を回して、サイドハンドル⑦を緩め、深さゲージ⑧を抜き取ります。

## 作業する

- 警告** ◆ 「電子無段変速スイッチ⑤」がいっぱいまで引き込まれた（オン保持）状態になっていないことを確かめてから、電源プラグを電源コンセントに差し込んでください。

### ① 深さゲージ⑧を調節する（穴あけ作業時）

1. サイドハンドル⑦のグリップ部を回してサイドハンドル⑦を緩めます。
2. あけたい穴の深さに合わせて深さゲージ⑧を動かします。
3. 深さゲージ⑧の位置決めが終わったら、サイドハンドル⑦のグリップ部を回してサイドハンドルを締め、深さゲージ⑧を固定します。



使  
い  
方

- 注意** ◆ サイドハンドル⑦のグリップ部を回して、サイドハンドル⑦を緩めると、サイドハンドル⑦の位置が動いてしまう可能性があります。サイドハンドル⑦の位置も確認してから、サイドハンドル⑦を締めてください。

### ② 「作業切り替えレバー②」を か の位置にしっかり切り替える（次ページ図参照）

-  “カチッ”と音がして、「作業切り替えレバー②」が正しくセットされたことを確認してください。

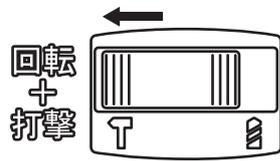
- 注意** ◆ 本体の損傷を防ぐため、モーターの回転が止まった状態で、「作業切り替えレバー②」を切り替えてください。  
「電子無段変速スイッチ⑤」を引き込んでいるとき、「作業切り替えレバー②」は切り替えしないでください。

### ③ 「正転・逆転切り替えスイッチ③」を切り替える

- 注意** ◆ 本体の損傷を防ぐため、モーターの回転が止まった状態で、「正転・逆転切り替えスイッチ③」を切り替えてください。  
「電子無段変速スイッチ⑤」を引き込んでいるとき、「正転・逆転切り替えスイッチ③」は切り替えしないでください。

コンクリートや石材、レンガなどの穴あけ

使  
い  
方



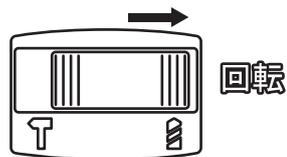
作業切り替えレバー



正転・逆転切り替えスイッチ

木材、金属、プラスチックなどの穴あけ

ネジの締め

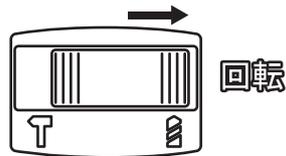


作業切り替えレバー

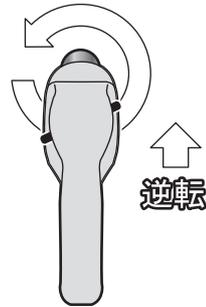


正転・逆転切り替えスイッチ

ネジの緩め



作業切り替えレバー



正転・逆転切り替えスイッチ

使  
い  
方

#### 4 電源プラグを電源コンセントに差し込む

「オン保持ボタン④」が押されていないことを確認してから電源プラグを電源コンセントに差し込んでください。

#### 5 「変速ダイヤル⑥」を調節する



右に回すと、回転数・打撃数が多くなります（高速側）。  
左に回すと、回転数・打撃数が少なくなります（低速側）。

☞ 「変速ダイヤル⑥」を“低速側”にして長時間作業することは、避けてください。モーターと連動している冷却ファンの回転数が落ち、冷却効果が下がります。

☞ 試しの穴あけなどをして、最適な回転数・打撃数を求めてください。

## 6 「電子無段変速スイッチ⑤」を操作する



### 警告

- ◆ 作業中に振り回されないよう、振動ドリル本体にサイドハンドル⑦を取り付けてください。両手で本体のグリップとサイドハンドル⑦をしっかり保持し、作業してください。
- ◆ 作業中は常に、振動ドリル本体の後方に電源コードがくるようにしてください。  
電源コードが回転部に巻き込まれると事故の原因になります。



### 注意

- ◆ 作業時、振動ドリル本体は軽く押すだけで十分です。  
必要以上に強く押しつけると、先端工具を傷めて作業効率下がったり、本体が故障したりします。
- ◆ 作業時、サイドハンドル⑦を押すのではなく、振動ドリル本体後部を押すようにしてください。サイドハンドル⑦の位置がずれることにより、チャックが破損する恐れがあります。  
また、振動ドリル本体をしっかり保持し押すことによって正確な穴あけが可能になります。
- ◆ 穴あけ直後の先端工具は高温になります。やけどを負う恐れがありますので、触れないでください。
- ◆ 長いネジを締めるときは、ドライバービットがネジから外れないように注意してください。



振動ドリル本体が熱くなったときは、「電子無段変速スイッチ⑤」をいっぱいまで引き込み、3分間ほど空転（無負荷運転）させて、モーターを冷やしてください。

## スイッチの ON/OFF

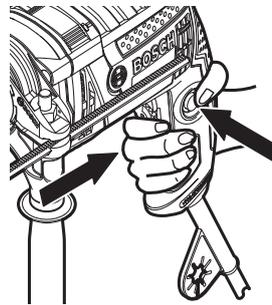
スイッチ ON : 「電子無段変速スイッチ⑤」を引き込みます

スイッチ OFF : 「電子無段変速スイッチ⑤」を離します

☞ 「電子無段変速スイッチ⑤」を引き込む加減で、回転数・打撃数が調節できます。

## 連続作業のとき

1. 穴あけ時は、先端工具を材料に当てます。
2. 「電子無段変速スイッチ⑤」をいっぱいまで引き込みます。
3. 引き込んだ状態で「オン保持ボタン④」を押します。
4. 「電子無段変速スイッチ⑤」から指を離します。
5. 「オン保持ボタン④」から指を離します。

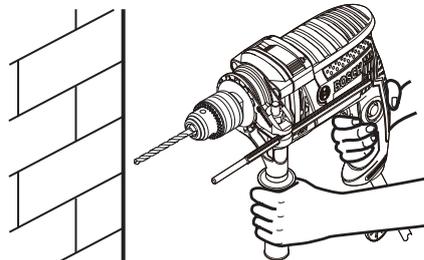


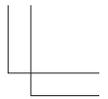
使  
い  
方

コンクリートや石材、レンガなどの穴あけ

木材、金属、プラスチックなどの穴あけ

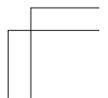
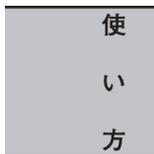
1. 先端工具を材料に当てます。
2. 「電子無段変速スイッチ⑤」を引き込みます。





ネジの締め・緩め

1. 先端工具をネジ頭の溝に合わせます。
  2. 「電子無段変速スイッチ⑤」を引き込みます。
-  ネジを緩めるときは、「正転・逆転切り替えスイッチ③」を逆転に切り替えてください。



## 困ったときは

### 故障かな?と思ったら

- ① 『取扱説明書』を読み直し、使い方に誤りがないか確かめます。
- ② 次の代表的な症状が当てはまるかどうか確かめます。

症 状	原 因	対 処
「電子無段変速スイッチ⑤」を引き込んで、回らない	電源プラグが電源コンセントに差し込まれていない  カーボンブラシが消耗している  電源コードが断線している	電源プラグを電源コンセントに差し込む  修理を依頼する  修理を依頼する
「電子無段変速スイッチ⑤」が引き込めない	「正転・逆転切り替えスイッチ③」が中途半端な位置になっている	“正転”か“逆転”の位置にしっかりと切り替える
回ったまま、止まらない	「電子無段変速スイッチ⑤」がいっぱいまで引き込まれた(オン保持)状態になっている	「電子無段変速スイッチ⑤」をさらに引き込んで指を離し、オン保持状態を解除する
穴あけなどに時間がかかる(穴があかない)	先端工具が摩耗している  使用電源の電圧が低い  「正転・逆転切り替えスイッチ③」が“逆転”の位置になっている	先端工具を研磨するか、交換する  100Vの電源を使う  「正転・逆転切り替えスイッチ③」を“正転”の位置に切り替える

困ったときは

## 修理を依頼するときは

- ◆ 『故障かな?と思ったら』を読んでもご不明な点があるときは、お買い求めの販売店または弊社コールセンターフリーダイヤルまでお尋ねください。
- ◆ 修理を依頼されるときは、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターにご相談ください。
- ◆ この製品は厳重な品質管理体制の下に製造されています。万一、本取扱説明書に書かれたとおり正しくお使いいただいたにもかかわらず、不具合（消耗部品を除きます）が発生した場合は、お買い求めの販売店または、ボッシュ電動工具サービスセンターまでご連絡ください。弊社で現品を点検・調査のうえ、対処させていただきます。お客様のご使用状況によって、修理費用を申し受ける場合があります。あらかじめご了承ください。

困ったときは

コールセンターフリーダイヤル ☎ 0120-345-762

土・日・祝日を除く、午前9:00～午後6:00

※携帯電話からお掛けのお客様は、TEL. 03-5485-6161 をご利用ください。  
コールセンターフリーダイヤルのご利用はできませんのでご了承ください。

ボッシュ株式会社ホームページ <http://www.bosch.co.jp>

ボッシュ電動工具サービスセンター

〒360-0107 埼玉県熊谷市千代39

TEL 048-536-7171 FAX 048-536-7176

ボッシュ電動工具サービスセンター西日本

〒811-0104 福岡県糟屋郡新宮町の野741-1

TEL 092-963-3486 FAX 092-963-3407

## お手入れと保管



**警告**

◆ お手入れのときは、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。



### クリーニング

- 通風口やチャックなどに付いたゴミ、ホコリを取り除く
- 乾いた、柔らかい布で本体の汚れをふき取る

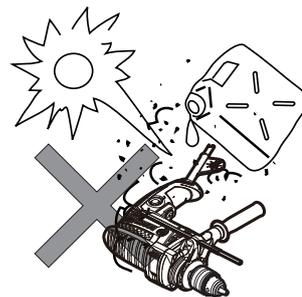
 変色の原因になるベンジンなど、溶剤を使わないでください。



### 保管

- 振動ドリルを使った後は、きちんと保管する

- 子供の手が届くところ、または錠が掛からないところに置かない。
- 風雨にさらされたり、湿度の高いところに置かない。
- 直射日光が当たったり、車中など高温になるところに置かない。
- ガソリンなど、引火性が高いものの近くに置かない。



保  
お  
手  
入  
れ  
と  
管

